

催し物ご案内

タイトル	内容	日時	場所	対象(定員)	料金	備考
科学館観望会	観望対象 ①月・おうし座など 冬の星座の星 ②オリオン座など 冬の星座の星 ③月・木星や、 冬の星座の星	①1月23日(土) 19:00～20:30 ②2月6日(土) ③2月20日(土) 19:00～20:30	科学館駐車場	—	無料	直接お越しください。
札幌市天文台 夜間公開	観望対象 ①、②おうし座など秋から 冬の星座の星 ③オリオン座など秋から 冬の星座の星 ④月、秋から冬の星座の星	①1月8日(金)～11日(月・祝) ②1月15日(金)～17日(日) 18:00～20:00 ③2月5日(金)～7日(日) ④2月26日(金)～28日(日) 19:00～21:00	札幌市天文台 札幌市中央区 中島公園1-7 (コンサートホール Kitaraとなり)	—	無料	札幌市天文台 TEL: 011(511)9624 直接お越しください。
やさしく学ぶ 星空教室 (全3回コース)	これから星空を楽しんでみたいという方向けの初級講座です。実際の空で、季節の星を探してみましょう。	2月11日(木・祝)・ 25日(木)・ 3月10日(木) 19:00～21:00	科学館会議室	18歳以上 (高校生不可) 定員:30名	1,500円	要申し込み 1月28日(木) 科学館必着
詳しく学ぶ 天文講座 (全4回コース)	星や天文について、少し詳しくになりたい方向けの中級講座です。座学を中心に、天文について幅広く学びます。旬の話題もお届けします。	1月22日(金)・ 2月5日(金)・ 19日(金)・ 3月4日(金) 19:00～21:00	科学館会議室	18歳以上 (高校生不可) 定員:30名	2,000円	要申し込み 1月15日(金) 科学館必着
4次元デジタル 宇宙シアター	地球を飛び出し、はるか遠くの銀河まで！ 星が飛び出す立体シアターで、宇宙空間を大冒険！	2月13日(土)・14日(日)・ 20日(土)・21日(日) ①10:10～②10:50～ ③11:30～④12:10～ ⑤13:20～⑥14:00～ ⑦14:40～⑧15:20	科学館 特別展示室横	—	無料 (展示室観覧料が 別途かかります)	展示室観覧券をお求めのうえ、 直接お越しください。 館内で専用の整理券をお配りします。
プラネタリウム 完成前見学会	工事中のプラネタリウムをいち早く見学でき、どのような点が新しくなるか知ることができます。	3月下旬	科学館 プラネタリウム	定員: 各回30名	無料	詳細未定

申し込み方法：往復はがき・FAX・E-mail:astroevent@ssc.slp.or.jpのうちのいずれか。①イベント名、②代表者の住所・氏名・電話番号、③返信先、④参加者数、⑤参加者全員の氏名・年齢をご記入の上、科学館までお送りください。(多数時抽選)

プラネタリウム完成前見学会

プラネタリウムは2015年11月からリニューアル工事のため休演していますが、だんだんと完成に近づいてきました。新しく導入される光学式プラネタリウム「ケイロンⅢ」や全天周デジタルシステム、座り心地がよくなった座席や使いやすくなったドーム空間等をいち早く見学することができます。リニューアル後のプラネタリウムはどのような点が新しくなるのか、どういったことが可能になるのかなどを知ることができます。詳細はHP等でお知らせします。お楽しみに！



科学館からのお知らせ

工事の様子

プラネタリウムは最終投影の翌日(11月2日)から旧機器の解体が始まりました。旧投影機の解体はほぼ一日で終わり、座席の取り外しや壁の撤去が急ピッチで進められました。新しいプラネタリウムは内部のレイアウトが変更され、この号が出る12月下旬頃には内装が完成し、座席が新たに設置されている予定です。



新しい座席は補聴システム対応座席がわかりやすいよう色分けされます。また車いすの方も利用しやすくなるように通路が広げられるなどより使いやすくなります。どうぞご期待ください。

新しいプラネタリウム投影機は1月中旬より搬入設置が行われる予定です。また、旧投影機「GSS-URANUS」は皆さんが触って動かすことができるように移設展示される予定です。

休館日 1/1～4・18・25・26、2/1・8・12・15・22・23・29

プラネタリウムは改修工事のためお休みです。

観覧時間 5月～9月：午前9時から午後5時まで、
10月～4月：午前9時30分から午後4時30分まで
(入館は閉館の30分前まで)

観覧料	大人	中学生以下	※()は、敬老手帳、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示の方。
展示室	700円(500円)	無料	

— 科学の今と未来をつなぐ —
札幌市青少年科学館
 Sapporo Science Center
(札幌市青少年科学館 指定管理者 公益財団法人 札幌市生涯学習振興財団)

〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目
 TEL: 011(892)5004 FAX: 011(894)5445 ホームページ: <http://www.ssc.slp.or.jp/>

交通案内



札幌市青少年科学館天文リーフレット

星空散歩

2016年
1・2月号
 vol.63



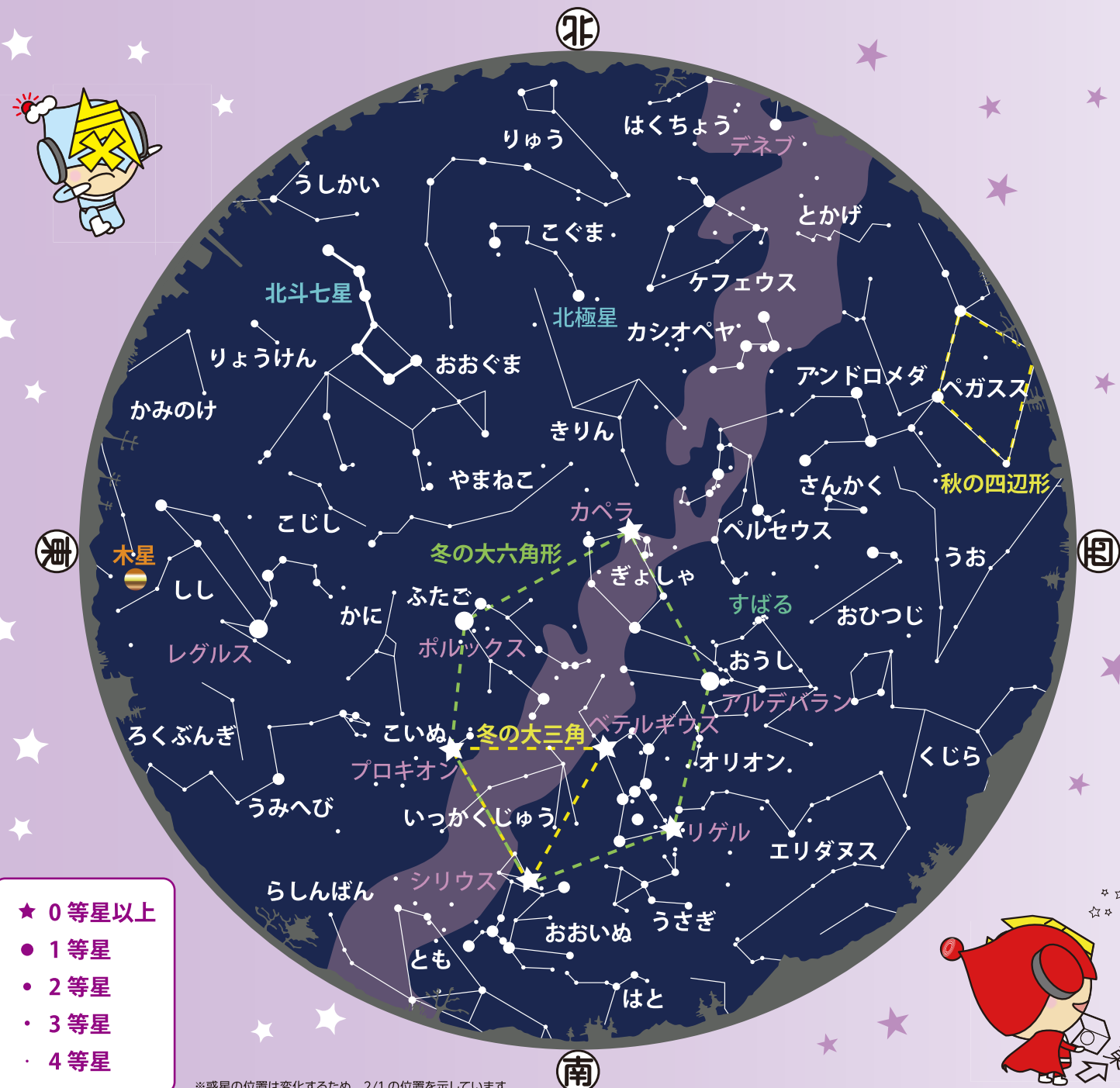
今回の表紙写真は
M45
 プレアデス星団

撮影：札幌市青少年科学館 天文係 荒明慎久
 撮影日：2014年8月30日 0時12分
 撮影地：勇払郡安平町
 データ：NikonD610、BORG77EDⅡ+フラットナー

科学戦隊
 サイエンジャー



2016年1・2月の空



- ★ 0等星以上
- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星

※惑星の位置は変化するため、2/1の位置を示しています。



1年の中でもっとも星空がきれいに見える時季となりました。澄みきった南の空を見上げると、たくさんの明るい星と冬の星座たちを見つけることができます。

まず、南の空の中ほどにあるリボンのような形をしたオリオン座を見つけてみましょう。ななめ1列に並んだ「三ツ星」を真ん中に置き、左上に赤く輝くベテルギウスと右下の青白いリゲルの2つの0等星が目じるしです。つぎに、オリオン座の東側で明るく輝く2つの星を見つけます。高い位置で輝くのはこいぬ座のプロキオン、低い位置で輝くのはおおいぬ座のシリウスです。オリオン座のベテルギウスと、この2つの星を結んで出来る大きな三角形を、「冬の三角」といいます。

また、冬の星空には「冬の六角形」（別名：冬のダイヤモンド）と呼ばれる6つの星が作る美しい六角形の星並びもあります。どれも1等星以上の明るい星ですので、左の星図を見ながら探してみましょう。

星の見つけ方

- 1 見たい方角を向く。
- 2 左図を見たい方角が下になるように持って、頭の上にかざす。
- 3 星を見つける。

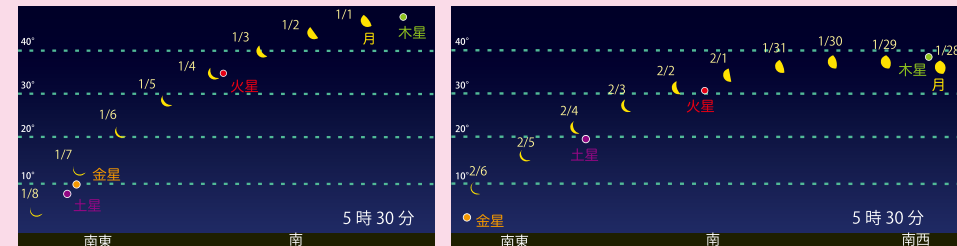
星図のように見える時刻

- 1/1 午後11時ごろ
- 2/1 午後9時ごろ

月と惑星のあんない



今の時季は、夜中から明け方にかけて、木星、火星、金星、土星と、4つの惑星を見ることができます。ただ、金星は1月の終わり頃から徐々に見つけにくくなりますので、早めに見ておきましょう。月と惑星が寄りそうのは1月・2月ともに上旬と、下旬の頃。月は欠けながら、惑星のそばを順番にめぐっていきます。



月のかたち

- 満月 1/24、2/23
- 新月 1/10、2/8
- ◐ 下弦 1/2、2/1
- ◑ 上弦 1/17、2/15

旬の話題

3月9日部分日食



2016年3月9日（水）、日本では4年ぶりとなる日食が起こります。札幌では欠け方が小さい（最大食分13%）部分日食ですが、南の地域ほど欠け方が大きく、インドネシア等では皆既日食となります。

札幌市青少年科学館、札幌市天文台では、部分日食の観望会を行います。太陽観測用のメガネや専用望遠鏡を使って、安全に観測しましょう。



2012年5月21日9時4分
部分日食

【部分日食観望会】

場所：札幌市青少年科学館、
札幌市天文台
時間：10:30～12:00
料金：無料
※天候により中止の場合あり

食の開始	10:38
食の最大(食分13%)	11:18
食の終わり	11:57

